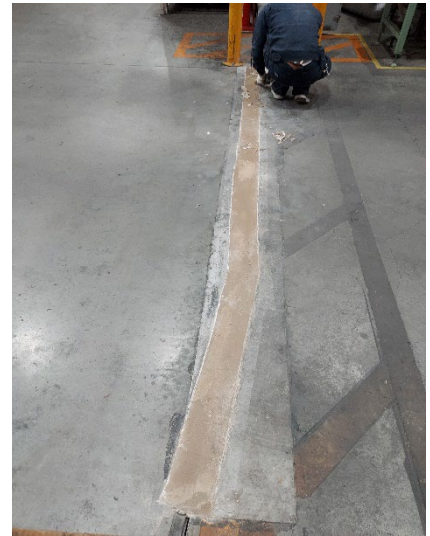


2022年2月20日実施、1年経過後確認で問題なし。

1年前に大型倉庫で床目地部の補修を行いました。
フォークリフトにより目地の補修を繰り返されたとお聞きしておりました。
目地材の前後に欠け割れが生じ、そこから損傷が拡大する様子でした。
今回の補修では、Eagle8-Hの強度・付着力と弾性(靱性)を考慮し、厚みのある目地材を覆い、一体的に補修することにしました。
1年経過し問題ないとのご判断を頂き、部分的に施工状況を開示させていただきました。
なお、材料設計は弊社が立ち会い、研り、清掃などの下地調整も初日のみ立会わせていただき、材料設計と混練条件、施工方法をご提案いたしました。
補修にあたりましては、ぜひご相談いただけますと幸いです。



左 損傷部除去、中 損傷部除去後拡大、右 補修後(黄土色部分)



左 補修前 中 損傷部除去後 右 補修後(黄土色部分)